

令和2年6月30日 調布市立第二小学校 校 長 加藤 正孝 栄養士 佳香 前田

いよいよ夏本番。急に暑さが増すこの時期は、体が暑さに慣れていないために、熱中症になりやすく、 注意が必要です。そうめんや冷ややっこ、かき氷など、口あたりの良いものを食べたくなりますが、冷たい ものばかりを食べすぎていると胃腸の調子を崩し、栄養が偏って夏バテしやすくなります。

食事のとり方に気をつけ、夏を元気にのりきるためのパワーをつけましょう。夏をのりきるのにおすすめ の夏野菜と、給食での活用メニューを紹介します。



油との相性がと てもよく、炒めたり、 揚げたりすることで エネルギーの補給 に役立つ野菜です。



ビタミンCや カロテンが豊 富。完熟した「赤 ピーマン」はさら に栄養豊富にな ります。



ビタミンC、カ ロテン、抗酸化作 用のあるリコピン が豊富。うま味成 分も多い野菜です。

夏野菜カレーや、 麻婆なす丼に使いました。

ナンピザトースト,ピラフに 使いました。 炒め物などにも最適ですね。

サラダやカレーに使っています。 卵とスープにするのもおいしい です。

## えだまめ



豆と野菜の栄養を兼ね そろえています。糖質の 代謝に欠かせないビタミ ンBiも多く、甘いものを とりすぎてしまいがちな 夏にとくに役立ちます。





栄養価が高く 「野菜の優等生」 とよばれます。 ビタミンA・C・ Eが豊富です。

きゅうり



カリウムが多く、 体のミネラルバラ ンスをとるのに役 立ち、利尿作用も あるとされます。

チャーハンに入れました。 他にもサラダに使っています。 夏野菜カレーや、ばら天丼の 具にしました。

冷やし中華,サラダに 使っています。

## 甘い飲み物 △△△△ とりすぎ注意! 0000



ジュースやスポーツドリンクを飲み すぎると、糖分のとりすぎやむし歯の 原因になってしまいます。ふだんの水 分補給は水や麦茶にしましょう。





